

全日本トラック協会ニュース

第 9 回 「トラックの森」づくり植樹式の 実施について

社団法人全日本トラック協会では、地球温暖化対策の一環として、平成 15 年度から「トラックの森」づくり事業を推進しています。

本事業は、わが国の森林保護育成を図ることで、地球温暖化の大きな要因となる CO₂ の削減に寄与することを目的とし、毎年「全国トラック運送事業者大会」に合わせて、この開催地域に「トラックの森」を設置するものです。

今年は国際森林年にもあたりますが、京都市の「銀閣寺山国有林」内に 9 ヶ所目となる「トラックの森」を設置することとし、別紙要領にて植樹式を実施しますのでお知らせいたします。

※ 「トラックの森」について

全日本トラック協会による「トラックの森」は、国有林を中心にフィールドを設け、トラック運送事業者及びその関係者が、地域ボランティアの方々などのご協力を得ながら、植樹をはじめ下草刈り、枝打ち、間伐などを行い、長期間にわたり森を育てるものです。

また、このほか各都道府県トラック協会でも森づくり事業が進められており、既に全国に 50 ヶ所の「トラックの森」が設置されています。

お問い合わせ

(社)全日本トラック協会
広報部 永嶋・飯塚・本間

☎ 03-5323-7242

交通・環境部 大澤・星野

☎ 03-5323-7243

第9回「トラックの森」づくり植樹式概要

1. 日 時 平成 23 年 10 月 5 日 (水) 午前 11:00 ~ 12:30
2. 場 所 京都市 「銀閣寺山国有林」 内
3. 参加者 約 50 名
4. 植 樹 抵抗性マツ 約 500 本 (面積 約 0.2ha)
5. 主 催 (社) 全日本トラック協会
近畿トラック協会
(社) 京都府トラック協会
(公社) 国土緑化推進機構
フィールドソサイエティー
6. 後 援 林野庁